

令和7年6月21日（土）、シェラトン都ホテル大阪・大和の間で第22回清風岩峯会総会が開催されました。渡辺一正氏の司会で、開会に先立ち、令和5年12月にご逝去された平岡英信名誉会長を含む清風学園関係物故者の方々に哀悼の意を示すとともに、ご冥福をお祈りするため出席者一同、黙とうを捧げました。

西野弘一会長挨拶後、西野会長を議長に選出し、第1号議案「令和6年度事業報告」、第2号議案「令和6年度一般会計報告」「同特別会計決算報告」「会計監査報告」、第3号議案「役員改選」、第4号議案「令和7年度事業計画（案）」、第5号議案「令和7年度会計予算（案）」が上程され、それぞれ審議・可決しました。本年度の事業については、9月に清風

学園で行われる文化祭に3年前から岩峯会ブースを設け同窓生が集まる場所としており、在校生に岩峯会の存在をアピールする場所として今年も設置する予定。昨年から広報委員会がデジタル広報誌

『SEIFU-TIMES』を発刊しており、引き続き学校の情報や同窓会の活動等々を発信するとしました。

最後に、葛本一彦副会長の挨拶で総会を締めくくりました。



シェラトン都ホテル大阪での総会の様子

第22回 清風岩峯会総会報告

清風岩峯会 会長 西野 弘一

お忙しい中、たくさんの同窓の皆さま方にお集まりいただきましてありがとうございます。昭和31年卒の先輩から30代前半の皆さままでお集まりいただき、あらためて清風の歴史と伝統を感じております。3年前から「二十歳の集い」というのを開催しております。成人式は各市町村の中学校単位で実施しているため、中高一貫校出身では集まる機会がない、ということで二十歳の子どもたちを対象に集まる場を設けています。卒業して約2年しか経っていないのですが、皆それぞれが互いの成長を感じながら同窓の繋

がりの大切さを実感していたようで、大変うれしく思いました。

大阪では子どもたちの人口が1970年頃の半分になっています。学校の数はそのほど減っていないので、どの学校もこの厳しい時代をどうやって勝ち残るかということになります。当然、進路指導であったり学力であったりいろいろなものがあるのですが、1つのキーワードとして「人格形成」が挙げられるのではないかと思います。清風は徳・健・財の理念の下、一貫した教育を行っている強みがあると思っています。卒業した後にも、それぞれが自分の心の柱としながら道を拓く、またその姿を子どもたちに見せていくことも学校のサポートになっているのではないかなと思っています。

今日は懐かしい皆さま同士で昔話をして盛り上がっていただくのと併せて、世代を超えたつながりをここで作っていただきたい。また、これから後輩たちにもそういう清風岩峯会の姿を見せていければいいなと思っています。

令和7年度事業計画

年月	事業予定
令和7年4月	5日 役員会
5月	10日 役員会
6月	21日 総会・懇親会
7月	5日 役員会
9月	6日 文化祭出展 役員会
10月	8日 体育祭
12月	6日 役員会
令和8年1月	1日 拝賀式
2月	7日 役員会
3月	(日未定) 卒業式
	13日~14日 100キロ歩行
	21日 二十歳の集い

本年度は5月、7月、11月に
『SEIFU-TIMES』発刊予定です。

西野弘一会長による開会挨拶



第22回清風岩峯会総会の総会資料は公式HPに掲載しています。

学校法人清風学園 理事長 清風中学校・高等学校 校長 平岡 宏一

いつも清風学園を支援していただきましてありがとうございます。

先日、高野山修養行事がありました。いつから実施しているのかわかりませんが、お子さんが清風の卒業生でいらっしゃる上綱さまのお話によると、上綱さまのお母さまが普賢院にお興入されたのが昭和26年5月で、その日は高野山修養行事だったそうです。非常に長い歴史で今も変わらぬ形で実施しています。コロナ自粛のため中止した年もありましたが、再開の折には子どもたちがものすごく楽しかったと言ってくれました。これからも続けていくことが大切だと思っています。

四天王寺学園、四天王寺東、上之宮太子、創価学園の校長先生は皆、清風の卒業生です。東京大学で2人教授を出すことができました。今、清風で一番遠くから通ってくれる生徒は淡路島から通っています。5時50分の電車に乗って通ってくれており、ありがたいなと思っています。

清風学園の生徒はどこへ行ってもきちりしていると言われます。やはり私たちの教育の成果かなと思います。無理に厳しくする必要はありませんが、こういう時代だからこそきちりした青年を育てていく学校として今後も頑張りたいと思います。男子校でどこまでで



平岡 宏一 理事長

きるかわかりません。もともと46校あった大阪の男子校、今はとうとう明星、星光、清風の3校になってしまいました。清風の卒業式は質実剛健という感じがですが、そのような卒業式を続けていく男子校であろうと思っていますので、今後ともご理解とご支援を賜りたいと思っています。

懇親会「再会」



総会後は懇親会が開催されました。清風学園理事長・校長の平岡宏一先生が開会の挨拶をされ、長屋憲明先生の乾杯後、歓談に移りました。奥野総務委員長の司会進行で、幅広い年代の卒業生にマイクを向け、近況や懐かしい思い出を分かち合いました。先生方からはバレーや柔道、ボート、ハンドボールなど部活動の実績や各業界で活躍する卒業生が紹介されました。

東出賀晴副会長の閉会挨拶の前に、母校への感謝の気持ちを込めて、同窓生でもあり現在清風で教鞭を執っておられる弓場徹先生の指揮で校歌を斉唱。時代を超えて会場が一体感に包まれました。中には遠方から参加してくださっている卒業生もあり、この懇親会が今後の交流の機会になればと思います。ご参加いただいた皆様ありがとうございました。



近況報告（上）、校歌斉唱（下）



葛本一彦 副会長

清風学園では今年で77回目の卒業式を迎えます。宥峯会も22年目になりまして、ますます大きくなって盛んになっていくことが現役清風生のためにもなりますので協力いただきたいと思います。

本日は遠方からお越しくださった同窓生や、87歳の大先輩も参加されています。全国各地からどんどんご参加いただきますよう、今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。



東出賀晴 副会長

本日は遠い所からお越しくださいまして、ありがとうございます。宥峯会も発足して22年になりました。私が宥峯会に関わったのが、先輩に頼まれて付き添って来るようになり、いつの間にか副会長になりました。清風の受験者数は2年連続定員割れしている状態です。ぜひ周りの方に清風を勧めていただければと思います。